

令和4年度 当初予算要求事業内容説明書

3款 3項 1目

第1章 ともに支え合い誰もがいきいきと暮らせるまち(福祉・健康・子育て)

基本施策3 高齢者福祉

施策1 住み慣れた地域での包括的な支援体制を整備します

【会計】介護保険特別会計

3款:地域支援事業費 3項:包括支援事業・任意事業費 1目:包括支援事業費

事業	44	生活支援体制整備事業
担当所属		高齢者福祉課

【予算額】

予算要求額	(財源内訳)				
	一般財源	国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財
29,830千円	6,861千円	11,485千円	5,742千円		5,742千円

【事業の概要】

事業の概要	生活支援コーディネーターの配置及び協議体を設置し、生活支援等サービスの提供体制の整備を図ります。
事業の目的	単身高齢者や夫婦のみの高齢者世帯、認知症の高齢者が増加する中、医療、介護のサービス提供のみならず、NPO、民間企業、協同組合、ボランティア、社会福祉法人、社会福祉協議会、地縁組織、介護サービス事業所、シルバー人材センター、高齢者クラブ、商工会、民生委員等の生活支援サービスを担う事業主体と連携しながら、生活支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図っていくことを目的とします。
事業の効果	高齢者が住み慣れた地域で、人生の最期まで尊厳をもって自分らしい生活を送ることができます。

【予算額の節別内訳】

節	予算額	説明
8 旅費		
普通旅費	5千円	職員の出張に要する交通費
10 需用費		
消耗品費	10千円	事業用消耗品
12 委託料		
高齢者の生活支援コーディネーター等事業委託料	29,815千円	生活支援コーディネーター等事業委託料
計	29,830千円	

【活動指標・成果指標】

指標名	令和4年度計画値
生活支援コーディネーター(第2層)の配置数	5人
第2層(日常生活圏域)の協議体(会議)開催回数	30回
生活支援等サービス実施団体(箇所)把握数	330か所
第2層(日常生活圏域)の協議体(会議)参加人数	900人